



狛江市議会議員

山本あき子

建設・環境常任委員会所属

<http://yamamotoakiko.seikatsusha.me/>

狛江・生活者ネットワーク 議会レポート

No.4

2016年7月10日発行

連絡先：狛江市議会 狛江・生活者ネットワーク
〒201-0003 狛江市和泉本町1-1-5（市役所3階）
電話 03-3430-1171
狛江・生活者ネットワーク事務所
電話 03-3430-1302、FAX03-5761-0678
e-mail:komanet.seikatusya@nifty.com

狛江・生活者ネットワークは二人で会派を組んでいます。
まちの課題など市政へのご意見をお寄せください。

狛江市議会第2回定例会は2016年
5月12日～6月9日まで開かれました



狛江市議会議員

吉野よしこ

総務・文教常任委員会所属

<http://yoshino.seikatsusha.me/>

◆「放射性物質による環境汚染を防止するための法整備を求める意見書」を生活者ネットが提出し賛成討論を行いました。賛成少数で否決されました。

原発事故から5年を経て、なお、未だに誰も責任を取らず処罰もされていません。関連法が見直されたものの放射性物質適用除外規定がそのままの土壌汚染対策法のような法の空白状態は残されています。放射性物質を公害物質と明確に位置づけて規制し排出者責任などを盛り込んだ放射能汚染防止法の制定が必要です。

◆「原発事後避難者への住宅支援の継続を求める意見書」に賛成しましたが賛成少数で否決されました。

政府の原子力災害対策本部は区域外避難者の住宅支援を2017年3月に打ち切るという方針を打ち出しています。原発事故による避難者向けの公営住宅や民間賃貸などの無償住宅支援の延長を行い、現在の入居者が安心して暮らせる住まいの確保が必要です。

◆旧宮前保育園に続き和泉保育園が民営化されるのに伴い公立保育園は4園、民間27園となります。待機児童は142名（4月1日現在）で多様な保育が望まれます。

市議会議員 吉野よしこの ワクワク日記

業者も認める狛江の手づくり学校給食の質の高さ。中学校給食を試食！

5月30日(月)、中学校給食の試食会は小中学校の保護者をはじめ定員いっぱいの15名参加。2015年7月から開始した公設民営で運営される給食センター（西野川の旧7小跡地）では、素材から手作り、地場野菜や石けん使用など食育や環境に十分配慮した1500食を提供しています。委託事業者の(株)東洋食品のセンター長は「自校式の小学校と同じという狛江市さんの要望を受け昆布、鰹節でよい出汁を取るため朝は6時に、1時間早く来ます。大変ですが、よい経験をさせていただいていると思っています。」添加物を使わないので出汁が決め手、さぼるとちゃんとした味にならないそうです。試食した全員から感動のため息。

当日の献立

- ・ひじきご飯
- ・鯖の照り焼き
- ・お浸し
- ・沢煮椀
- ・牛乳



▲若者と政治を近づけるための活動を行っているivoteの学生たちと対話する吉野よしこ

「シティズンシップ」とはあらゆるひとつの政治体制を構成する構成員、あるいは構成員であることを指す概念。「シティズン」には「政治に参加する人」、また専門家に對して「素人」アマチュア」という意味があります。教育基本法14条1項は市民を育てることは学校教育の第1義的な存在理由とされていますが、現在の日本では知られていません。なぜなら2項の「政治的中立や特定の政党の支持やこれに反對する政治教育をしてはならない」という要請に偏重してきたためです。1項と2項を車の両輪として機能させ、14条が持つ意義を回

復させる取り組みが必要なのです。終身雇用制度や性別役割分業が壊れるなど社会が求める人物像は、『従順で無垢な素材』ではなく、『自立的に判断できる市民』とへ変化しています。

世の中に「政治」が存在すること自体が対立や異なる価値観が共存している証しです。争点をどのように理解するかという時に政治的リテラシーが必要になってきます。本来の学校教育は政治に参加するアマチュアを育てる場です。教員には中立的、バランスを取る、明示的に述べるといった3点に留意しつつ、今問題になっている事がらを取り上げ、論争を避けることなく一緒に議論し、考える生きた学びを実現していく使命を果たしてもらいたいと思います。

シティズンシップ教育はなぜ必要なのか？

1945年、20歳以上のすべての国民が参政権を持つようになりました。そして2015年6月、70年ぶりの公職選挙法の改正が成立し、全国の18、19歳約240万人が新たに有権者に加わります。日本社会でもシティズンシップ教育が脚光をあびるようになりました。



山本あき子の
一般質問

◆子どもたちが人権としての「性」をどう学ぶか

「愛・命・性」は人生にとって大切なテーマですが、子どもたちがきちんと向き合ったり話し合ったりする機会には非常に限られています。「こまねチャイルドライン」への電話相談の4分の1が性にまつわる内容です。東京都の人権プログラムには性についての項目がなく不十分です。教育委員会は専門のカウンセラーやNPO、医療機関、家庭と連携して学びの場、子どもたちを支えるしくみづくりに着手すべきです。



吉野よしのの
一般質問

◆主権者としての若者を育てるために

狛江市では子ども議会が07年から隔年で開催され昨年で5回目となりました。茨城県大子町の先進例を紹介し、各小学校で議員になった子どもだけでなく、学校全体で質問や提案の内容を作ることを要望しました。

学校教育においてテストや受験のための暗記、知識偏重の教育から脱却し、アクティブラーニングを実践することが求められており、そのためには教員の養成が

◆プラスチックごみ削減へ向けて

今、世界の海で私たちの暮らしから出るプラスチックごみが深刻な環境問題となつています。歯磨きや洗顔料に配合されたマイクロビーズは下水道からそのまま川や海に流出、漂流したプラ製品は紫外線や波によって直径5ミリ以下のマイクロプラスチックとなり有害な化学物質を吸着しながら食物連鎖に入り込み生態系に深刻な影響を与えます。足元の自治体から容器包装など使い捨てプラスチックを見直し削減する必要があります。ごみの組成分析に占めるプラスチック総量を公表し、削減に向けた施策を生かすべきと提案しました。

不可欠です。「主体的な課題解決型の学習や討論・対話を通じた深い学びを進める」との答弁を得ました。今後、学校が若者主体の団体と連携して様々な政治教育に取り組みよう要望しました。

◆安心して暮らせる防災の備え、市民の関心と参加を広げよう

乳児をもつ親にとってミルクの確保は重大な問題です。欧米で普及している液体ミルクは、紙パックやプラスチック容器に無菌状態で密閉されていて常温で6か月、1年保管でき、水

◆組体操について

運動会の組体操は、全国で年間8000件、都内でも例年700件以上の骨折など事故が発生しています。特に小学校での事故が多いとの報告がある中、市内小学校での今年度の実施状況と経緯、全体ピラミッドの有無、運動会における組体操の意義について質しました。教育長からは「昨今の難易度の高い技への挑戦は組体操の本来の趣旨から逸脱している。原点に帰るべき」との見解が示されました。来年度は現場の声を含めた活発な議論と透明性のある決定が望まれます。

や湯がなくても利用できます。液体ミルクの備蓄ができるよう都へ声をあげること求めました。また、3年前、狛江ネットが提案した手動式で軽量の災害対策用飲料水製造装置の備蓄が助成金を活用して実現しました。

被災時に簡単に実践でき、すぐに役立つ知恵が満載の女性だけで作った防災冊子『今日からはじめよう狛江防災』が反響を呼んでいます。平日の日に災害が発生した場合、地域にいるのは女性、高齢者や子どもです。子育て世代が集まるプレーパークの活動と連携した防災企画を提案しました。

いんふめーしょん

夏休み みんなおいで~!
子どものいばしょ

たたみでゴロゴロ、マンガ、ふきんぬい、食事づくり。宿題やってもいいね！近くにはプレーパークもあるよ！

3日とも西河原公民館です。
7月27日(水)10:00~16:00
学習室2、調理実習室
昼食はソーメン、昼食代100円

8月1日(月)17:00~19:30
調理実習室
夕食は野菜いっぱいドライカレー
夕食代 大人400円、子ども100円

8月23日(火)10:00~16:00
茶室、調理実習室
昼食はチャーハン、昼食代100円

申し込み・問合せ：
☎ 03-3430-1302 (松崎)
主催：生活クラブ狛江地域協議会
後援：狛江市社会福祉協議会

狛江発信！ 広げようallyの輪

性同一性障がいのことをやさしく伝える絵本
「イリスのたんじょうび」

狛江在住の方が作られたとても素敵な絵本を紹介します。『イリスは花がだいすきで、男の子だけどいつも耳に花をつけている。こんどの日曜日はイリスの誕生日だ。「プレゼントは何にしよう・・・スカートはどうか？」』作者の がりーど ちえこさんは、あるテレビ番組で、体は男の子だけれど心は女の子の小学生が、学校へスカートを履いていきたいけれど周りの反応が恐くて決心がつかず号泣している姿を見てとても心が痛み、体と心の性が一致しない性同一性障がい(GID)をもっと身近に感じて欲しいという思いからこの絵本を作ったそうです。

「この絵本によって、自分はイリスみたいなんだ、と少し安心できたら・・・また自分の周りに性同一性障がいの子がいた時、変わってる子変な子と思わず、イリスみたい、と明るく言えるようになれば・・・。色々な子がいてみんな違うけれどそれで良い、ありのまま皆なかよし、大人も子どももそう思って下さったら嬉しいです」と話しています。当事者が声をあげにくい中であって、がりーど ちえこさんのような理解者が行動を起こし絵本を作られたのは本当に素晴らしい事です。当事者ではありませんがLGBTなどの性的マイノリティを理解し支援する人を「ally(アライ)」と言います。狛江市でもアライの輪をどんどん広げていきたいと思っています。(山本あき子)

A-License DENTSU Diversity LAB
None of ALLY
Issued by: DENTSU Diversity LAB
Date of issue: May 2016
I promise to understand, accept, and support the LGBT community. 性同一性障がい、LGBT コミュニティを尊重し、受け入れ、そして支えることを約束します。 I'm an ALLY.